

## 検討会設置の趣旨

障害児入所施設については、平成24年の児童福祉法改正において障害種別ごとの体系から「福祉型」、「医療型」に再編され、平成26年の「障害児支援の在り方に関する検討会」、平成30年の「障害児入所施設の在り方に関する検討会」の報告を踏まえ、その在り方について一定の方向性が示され、取組が進められてきた。令和4年の児童福祉法改正においては、障害児入所施設に入所する児童の移行調整の責任主体の明確化と、必要な場合に23歳に達するまで入所継続を可能とする制度的枠組が構築された。平成24年の児童福祉法改正で、18歳以上となった者は、障害者施策において成人として適切な支援を行っていくこととし、以降児童福祉法に基づき障害児入所施設に入所している児童が18歳以上となった場合において、一定の福祉型障害児入所施設を指定障害者支援施設等とみなす特例を講じてきたが、令和6年3月31日に当該特例は終了となった。

令和6年度障害福祉サービス等報酬改定においては、障害児入所施設について、家庭的な養育環境の確保や専門的支援の充実、成人期に向けた移行支援の強化を図り、施設での障害児の育ちと暮らしを支える観点から、小規模化等による質の高い支援の提供の推進等の加算の充実を図ったところである。

一方で、昨今、障害児入所施設の利用者像が多様化しており、被虐待児や強度行動障害を有する児、医療的ケア児等といったケアニーズの高い児童をはじめ、様々な状態像の児童が障害児入所施設を利用している現状がある。こうした中で、社会的養護施策等との関係性も踏まえた障害児入所施設の役割の整理や支援の在り方についての整理・検討が必要となっている。

こうした現状も踏まえ、次期障害福祉サービス等報酬改定や制度改正を見据えて、障害児入所施設の現状や課題等を把握するとともに、社会的養護施策等との関係性も踏まえた役割等の整理、今後の障害児入所施設の在り方に関する具体的な検討を行うため、「今後の障害児入所施設の在り方に関する検討会」を開催する。

## 検討会の構成

- 本検討会は、こども家庭庁支援局長が学識経験者、障害児支援等の関係者、障害児入所施設経験者、子育て当事者等の参集を求めて開催する。
- 本検討会は、障害児入所施設の今後の在り方について具体的検討を行うに当たり、座長が必要と認めるときは、ワーキンググループを開催することができる。
- ワーキンググループは、福祉型WG・医療型WGとし、こども家庭庁支援局長が学識経験者、障害児支援等の関係者、子育て当事者等の参集を求めて開催する。

## 主な検討事項

- 利用児童の状態像を踏まえ、障害児入所施設での暮らしについてどのような生活を目指すのか。
- 利用児童の状態像に応じた施設類型の在り方について整理する。
- 障害児入所施設を利用する児童の家族への支援についてどのように考えるか。
- 障害児入所施設が果たすべき地域支援機能について整理する。
- 障害児入所施設と社会的養護施策との役割についてどのように考えるか。
- その他

## 検討スケジュール

令和7年  
5月 本検討会  
 ・ 主な検討事項(案)について  
 ・ 今後の検討の進め方について(案)  
 ・ 福祉型・医療型ワーキンググループの設置(案)について  
 ・ ヒアリングの実施(案)について  
 ・ 調査票(案)について

5月～6月  
 ・ ヒアリングの実施

7月～9月  
 ・ 福祉型・医療型ワーキング

10月  
 ・ 本検討会 中間報告

11月  
 ・ 福祉型・医療型ワーキング

令和8年  
1月～3月 検討会において報告書素案・報告書とりまとめ

## 本検討会構成員名簿

構成員名	所属等
1 相澤 仁	大分大学社会福祉健康科学部特任教授 山梨県立大学大学院人間福祉学研究科 特任教授
2 安部井 聖子	全国重症心身障害児（者）を守る会 会長
3 有村 大士	日本社会事業大学社会福祉学部 教授
4 石澤 柊	社会福祉法人麦の子会
5 市川 進治	日本肢体不自由児療護施設協議会 事務局長
6 市川 宏伸	一般社団法人日本自閉症協会 会長
7 岩田 高明	京都府健康福祉部障害者支援課 課長
8 片岡 俊二	全国盲ろう難聴児施設協議会 副会長
9 金兼 千春	独立行政法人国立病院機構重症心身障害協議会 会長
10 北川 聡子	公益財団法人日本知的障害者福祉協会 児童発達支援部会 会長
11 小崎 慶介	全国肢体不自由児施設運営協議会 会長
12 児玉 和夫	公益社団法人 日本重症心身障害福祉協会 会長
13 佐々木 桃子	一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会 会長
14 田窪 和美	東京都北児童相談所 所長
○ 15 田村 和宏	立命館大学産業社会学部 教授
16 中村 みどり	Children's Views & Voices 副代表
17 花房 昌美	大阪精神医療センター 児童思春期診療部 主任部長
◎ 18 山縣 文治	大阪総合保育大学 特任教授
19 米山 明	全国療育相談センター 顧問

## 福祉型ワーキング 構成員名簿

構成員名	所属等
1 相澤 仁	大分大学社会福祉健康科学部特任教授 山梨県立大学大学院人間福祉学研究科 特任教授
2 有村 大士	日本社会事業大学社会福祉学部 教授
3 市川 進治	日本肢体不自由児療護施設協議会 事務局長
4 市川 宏伸	一般社団法人日本自閉症協会 会長
5 片岡 俊二	全国盲ろう難聴児施設協議会 副会長
6 北川 聡子	公益財団法人日本知的障害者福祉協会 児童発達支援部会 会長
7 佐々木 桃子	一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会 会長
8 中村 みどり	Children's Views & Voices 副代表
9 山縣 文治	大阪総合保育大学 特任教授

## 医療型ワーキング 構成員名簿

構成員名	所属等
1 安部井 聖子	全国重症心身障害児（者）を守る会 会長
2 岩田 高明	京都府健康福祉部障害者支援課 課長
3 金兼 千春	国立病院機構重症心身障害福祉協議会 会長
4 小崎 慶介	全国肢体不自由児施設運営協議会 会長
5 児玉 和夫	公益社団法人 日本重症心身障害福祉協会 会長
6 田村 和宏	立命館大学産業社会学部 教授
7 花房 昌美	大阪精神医療センター 児童思春期診療部 主任部長
8 米山 明	全国療育相談センター 顧問